



ためきのポンポコ通信

砂川次郎の報告 元ためきの薬屋さん滋賀県大津市朝日 2-2 3-1
http://www.asahi-net.or.jp/~ph6j-sngw/ 電話 077-594-1505
Yahoo、Googleにて砂川 次郎で検索可能、Eメールもできるよ

2006年夏号



こんにちは。前志賀町議員の砂川次郎です 872名の方々投票して頂きましたがおしくも落選 しかし 負けずに オンブズマン活動で行政を監視中！

旧志賀町が大津市に吸収合併されたため、4月に定数3(旧志賀町では16議席)、選挙区域は旧志賀町域とされた合併による大津市議増員選挙がおこなわれましたが、残念ながら落選しました。

872票もくださり激励してくださいました皆様と 砂川 次郎 の選挙へ興味を持ってくださった方々へ 私は無傷ですご安心ください。

落選のことを皆様にご心配かけているようで申し訳ない、当人はアッケラカンとしていました。私の周りは打たれ強い人たちばかりで その方々を見ているので選挙に落ちるぐらいどうという事はないのです。まあ 勝負ですから悔しいのは当たり前ですが、選挙に勝つだけが目標でないことは私を支持して下さった方ならずすでにお判りとおもいます。行政情報の公開を進める、筋を通し自分の主張をへろへろ変えない等々です。

前志賀町幹部の保守系立候補予定者、及び次長クラスが自殺者するなど二名の町幹部の自殺が直前にあった荒れた選挙でありました。

一位当選=北村 正二 氏は元志賀町長で町長当時滋賀県のゴミ処理場を誘致した件で住民よりリコールが起こり、結局リコール投票で町長を解職された方がなんと一位、候補者を出さなかった宗教団体票が入ったとの話を聞いています。共産党古株の谷なおみ氏が二位で共産党の基礎票に700票ほど上乗せして二位当選、産廃建設にツナガル合併に反対していたのに、合併関連議案に賛成していた小松あけみ氏が三位、以上三名当選

7月4日に米国大阪領事館前で抗議をしました。

6月始めに米国日系ワタダ陸軍中尉が「イラクでの戦争は米国憲法、国内法、国際法に違反し、道義的にも過ちであり、そのような不正義に対して声を上げ、違法な命令に従わないのは米国に忠誠を誓っている軍人としての自分の任務である。」として将校としては初めて公に声明をだしたうえでイラクへの派兵命令を拒否していることを砂川はアピールしました。

米国領事館前で、反戦福祉議員ネットの皆さんと、イラク占領イラク市民虐殺の抗議行動



大阪の市会議員がズバリ！言います 旧志賀町の872人の眼力のある方々に敬意

ども。砂川クンの友人で選挙の時はオモロイ宣伝カーを提供した大阪府門真(かどま)市議の戸田です。まずは断固として砂川クンを信託してくれた872人の方に心から敬意を表しお礼を言います。あなた方が物事の本質を見抜く眼力を持っている有権者です。

問われたのは有権者の見識なのであった

選挙戦では「他候補の批判を公言するのはかえってマイナス」というのが常識ですが、砂川クンはマイナスを引かぶっても物事をあいまいにしては郷土のためにならない、との情熱であえてズバズバ言い続け、その結果票を減らして落選しましたが、後悔はしていません。問われたのは有権者の見識だったと思います。

私から見ると志賀町は自然環境に恵まれ移住して来る人が増加している恵まれた町で、それを消滅させて「大津市の北のはずれのスミッコ」になって産廃焼却場など種々の迷惑施設の負担を押し付けられることが目に見えている「合併」を選択するのは、全く誤った選択だと思えません。(なお、私の門真市は住民パワーで合併を阻止した)

しかし選挙の結果は、志賀町消滅と産廃にレールを引いた金券バラ撒きで砂川クんに訴えられた元町長、それに腰の引けた反対しかせず口先上手で町民を引き回し名簿集めをしてきたエセ革新政党と、町幹部+保守派議員と飲み食いOKのエセ市民派議員、3人の当選でした。(ちなみに旧志賀町での産廃反対で産み出された新人議員や新町長がこれほど住民の期待を裏切った地域も珍しいですが、その元凶がこの「エセ派」なのです。)

大津「市民」の方々 政治=生活の情報は大切ですよ！

身近な大津市の議員さんたちは皆さんに情報をしっかり報告していますか？ ホームページを作っている議員は少い上に機能していますか？ 滋賀県市民オンブズとしても行政の監視をし、情報公開等で奮闘してきた砂川クンが大津市議になる方が、ずっとマシな事が出来ると思います。報道でご存知のように7月14日彼はオンブズの一員として県議会議員の無駄な出費を違法だと監査請求しました。地元での一定の支持と大津市全域での新たな支持を合わせれば、来春大津市議会に登場することは全く可能です。応援して下さい！ 砂川クンのホームページは硬派な地元情報が盛りだくさんですよ

選挙事務所前で仲間たちと



知事選挙は革新・市民派勝利と言われているが・ 嘉田氏自身は県高官出身で自・公・民の推薦を強く望んでいた、 当然新知事に公約反対の者たちよりの取り込み策動が予想され、 嘉田氏も変節・公約破棄する可能性があり、今後は 嘉田氏を担いで当選させた人たちの真価が問われる

滋賀県の自民党は国松前知事を確かに推薦はしましたが、嘉田氏を早期から担いだのは自民党 富士谷英正 前県議会議長であり、その地元近江八幡などでは自民党員が積極的に嘉田氏の応援をしている、自民党掲示板に嘉田陣営の確認団体のポスターが貼ってあったりした、との報道もあります。（現在滋賀県自民党会派の中で富士谷議員は自主的に脱退せよと責められています。が、力が均衡しているので除名はできないのでしょう）

滋賀県の民主党は小沢党首の指示を破って真っ先に国松前知事を自民党より早く推薦しましたが、しかし労働組織の動きがあまりなかったようです。「うちのところ（組合）は何も言ってこなかっただけ」と何も選挙関係のお願いや指示がこなかったところもあるようです。

ある大手の組合の青年部・婦人部は本部の指示に反して嘉田候補を応援して活動していたとの話が当方に来ています。

そもそも新幹線新駅を栗東でなくて自分の地盤（近江八幡）への意向があった自民党前県議会議長が嘉田氏を担いで自民党内の内紛が起こったのが、今回の革新・市民派の勝利と一部で言われている発端の一つなのです。

それに 嘉田氏は滋賀県の御用学者として、琵琶湖を窒息させた琵琶湖総合開発にお墨付きを与えてきたと言えます（積極的になくても少なくとも批判しない事をもって、だから県の学者の重要ポストまで登れたのでしょう）、ところが自己批判もないままに選挙で琵琶湖総合開発を批判しています。そうそう嘉田氏を最初登用したと言われている武村元知事は琵琶湖総合開発推進者であり、全国でただ一つ住民の反対で頓挫したびわこ空港の建設に先鞭を付けたお方です。

**ともかくも良い公約を掲げていらっしゃいますので、全ての公約を
実行させるように、我々市民はシッカリと見張ってゆきましょう。**

田中長野県知事等の 嘉田氏への大きな危惧の概要は以下

大型公共事業見直しを公約し当選しても、県官僚からは、「中止も凍結も不可能ですよ。寧ろ、進めた方が血税の出費は少なくて済みますよ、と 「損害賠償」やら「住民訴訟」やらに伴って生じる膨大な「出費」の可能性を記した書類を元に圧力をかけられる。仮に県職員の「助言」に従わなかった場合、政・官・業・学・報の現状追認ペンタゴンを構成する審議会の御用「学」者、記者クラブに護られた地元「報」道機関が、こうした既得権益者の“空気”に同調し、中止や一時中止や凍結は理念としては理解可能だが現実問題として無謀だ、などと反旗を翻す。例えば徳島の大田正元知事（吉野川の稼働堰化反対）・栃木の福田昭夫元知事（「思川開発 事業」と「東大芦川ダム」の見直し）の様に、県議会や県職員と妥協して墓穴を掘るのが普通である。

嘉田氏は政権与党にも推薦を依頼した“策路家”とも伝えられているが、よしんば、フィールドワークで長期滞在したアフリカの地でタフ・ネゴシエーターとしての彼女が養われたのだとして、が、そのアフリカの自然以上に今後の道程は過酷・苛烈でありましょう。6年間の実体験に基づく、実感です。との概要を田中氏は述べ、「政権与党にも推薦を依頼した“策路家”」が公約をほんとうに実現できるか、について痛烈に危惧している。田中知事のように、周囲を全て敵に回しても公共事業をストップする根性が有るのは、極めて例外的なのである。

現在マスコミをにぎわしている談合 旧志賀町で行われた、し尿処理場にも疑惑 大津市民全員が税金で負担することになります。 それでもよいの？ 声をあげませんか？ ご意見は砂川まで

新聞によると汚泥・し尿処理場の入札において 複数メーカーが30年前より談合組織を作り少なくとも2003年より本年摘発までの間、談合の繰り返しが明らかとなり、11社11名が起訴されている。公正取引委員会および、大阪地検の捜査等々で事件の内容が明らかとなり、2004年に入札が行われた旧志賀町し尿処理施設＝衛生センターも上記談合時期と重なっている。

◎ 旧志賀町衛生センター入札参加会社は アタカ工業、栗田工業、日立造船、住友重機械工業、の四社であり、この四社全て談合組織のメーカーである。その上落札したアタカ工業、及び栗田工業は談合組織の幹事である。アタカ工業、栗田工業、日立造船、においては先頭に述べた入札談合事件での逮捕者をだしている。

入札参加会社の日立造船はアタカ工業の筆頭株主（当時57.01%）であり支配権がある。

◎ すでに判明した事件中では地元対策として本来必要の無い金を支払っている。また、談合に加わっていなかった低価格のメーカーをも組織に組み入れていった経緯がある。

旧志賀町において、2004年後藤又久・旧志賀町長により入札が執行された、し尿処理場＝衛生センターの入札においても、上記談合組織による不正の疑惑が濃厚である。また入札に関して以下のような不明な事象もあったことを述べ添える。

当時の旧志賀町し尿処理場の入札においては、談合情報が複数入っているにもかかわらず、形ばかりの調査の後入札が行われた。また、当時談合組織に加盟していなかった低価格路線の三井造船を旧志賀町は国の入札基準を適応する事により入札より排除した経緯もある。（当時の旧志賀町議会議事録・砂川の一般質問を参照されたい）山岡町長辞職の後の町長席が空白時、当時の職務代理者である総務部長が入札を執行しようとしたが、砂川および住民の非難があり入札を町長の選出後と修正した。彼は4月の合併にともなう選挙に立候補を表明していたが選挙公示直前に自殺、また入札準備作業に一時関わっていた次長クラスも3月に自殺している。

現代の治安維持法 = 共謀罪を不成立にした 滋賀県でただ一台の共謀罪反対宣伝カーを湖南・湖西地域で走らせました。

法案の内容は、ほんとうに実行しなくても話し合うだけで罪になる「共謀罪」でありながら、政府、自民・公明両党は「犯罪組織摘発に必要」と強調し、衆院法務委員会での採決強行が目前となっていた、しかし反対運動が盛り上がり今国会では時間切れとなりましたが次の国会でまた蒸し返してくる事でしょう。

政府の主張に対しては、弁護士会や元警察関係者からも「いまに条文の拡大解釈が進み、治安維持法の復活につながる」との声が上がっていた。個人商店で夫婦が節税を話し合っただけでも、警察が違法と認定すれば逮捕できる、恐ろしい社会となります。



宣伝カー仕立てのバジェロです